

新しい掲示板が  
できました



万葉植物園の入り口に、季節ごとに花や植物を紹介する掲示板を設置しました。

## 自然シリーズ



お正月にあわせて、おめでたい植物の紹介です。

まずは、「松竹梅」の「マツ(松)」、一年を通じて緑を保ち千年の齢を保つといわれ「不変の真理」の意味があり、また不老長寿の縁起ものとして扱われています。



ゴヨウマツ



クロマツ

万葉植物園には、五葉松と黒松があります。万葉集で松を詠んだ歌は多く、77首あるそうです。

「タケ(竹)」は青々としてまっすぐ伸びる様子から子孫繁栄を意味し、清浄な植物のひとつとされています。万葉植物園には、メダケ、アズマネザサ、ナリヒラダケがあります。植物学的には竹は木本(もくぼん)のイネ科です。普通の稲やススキなどは草本(そうぼん)のイネ科です。

タケに対してササという言葉がありますが、両者が明確に区別されたわけではなく、一般に大型のものをタケ、小型のものをササとよびます。関東地方



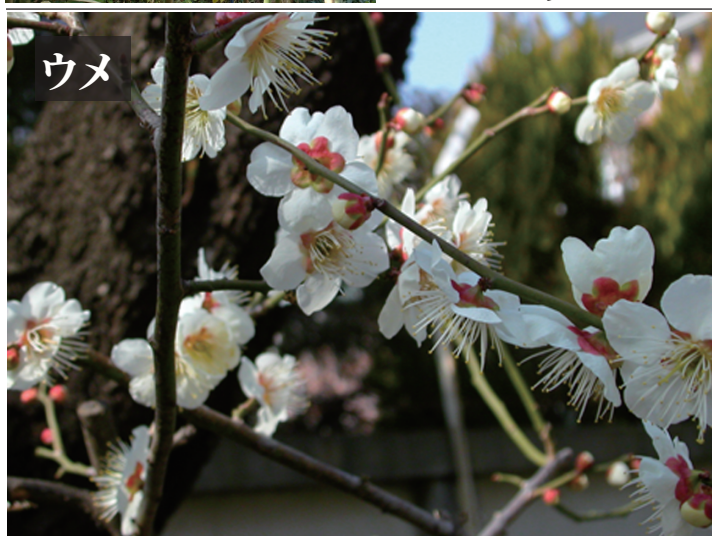
タケ

でもっとも普通にみられる(自生している)タケと言え、メダケとアズマネザサだそうです。

「万葉植物園の手引き」には竹、篠(細竹)笹の歌が載っていますが、その一つを紹介しておきましょう。

御苑生(みそのふ)の 竹の林に鶯はしば鳴きにしを雪は降りつつ(御苑の竹の林でウグイスはもうたびたび鳴いていたのに、雪はまだ降り続けていることよ。)

「ウメ(梅)」は、君子の徳と子孫の連続性の象徴とされ、白く可憐な花はいにしえより和歌に詠まれ、めでたい花として愛されてきました。万葉集には梅を詠みこんだ歌は百十九首もあるそうです。



ウメ



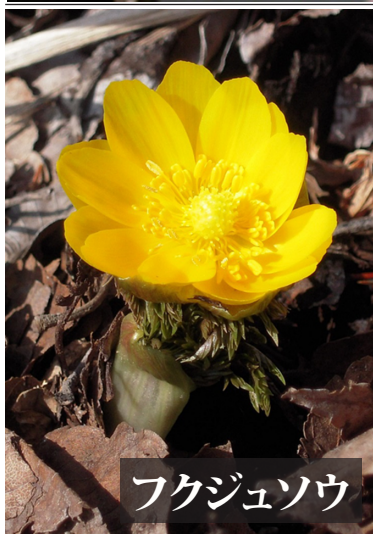
ナンテン

松竹梅の他にも、「ナンテン(南天)」  
「難を転ずる」から災難除けの縁起樹の代表、門松などのお正月の飾りつけでも活躍します。

「フクジュソウ(福寿草)」 幸福と長寿を招く縁起植物。ナンテンと共に植えて「難を転じて福となす」などと、お正月用の盆栽等に植えられています。金運では、マンリヨウ(万両)、センリヨウ(千両)、ヤブコウジ(藪柑子)十両)は、いずれも赤い実のなる可愛いらしい植物で、名前がめでたいので正月用の縁起物とされます。

その他にもおめでたい植物は沢山ありますので、皆さんも調べてみてはいかがでしょうか。

笹本記 瀧水編集



フクジュソウ